

海上の森自然観察会

日時 2012/7/21 10:00~14:00 (雨)

テーマ 夏に咲く花を觀賞しよう 参加者 一般2名、指導員6名

梅雨明け後の10日間程は気圧配置が安定し晴天が続くのが普通なのですが、今年は異常なのか1週間もたずに昨日から雨が降り続けています。そのため前月に引き続き雨の中の観察会となりました。

学校は今日から夏休みに入ることから、今回は珍しく電話での参加問合せが2件入り、久しぶりに子供が参加する観察会になるかと期待したものの、朝から無残にも雨が降り始め、実際に参加したのは常連メンバーだけになってしまいました。



今回のテーマは夏の花です。歩きやすいコースをとということで、四ツ沢から草刈の終わった散策路を通って篠田池にのぼり、林道経由で海上の里サテライトに寄って昼食をとり、駐車場に戻ることにしました。

駐車場を出たところでまずキハギの出迎えです。ちょっと見頃は過ぎていますが、水路沿いに何本か咲いていました。

四ツ沢までの道沿いにはホドイモ、ダイコンソウ、タケニグサ、ヌマトラノオ、ヤブカンゾウ、アキノタムラソウなどが咲いていました。

四ツ沢ではオケラの花芽がだいぶ大きくなっていました。

篠田池までの途中ではハエドクソウ、ナツフジなどが咲き、ハグロトンボ、クロコノマチョウが姿を現しました。

篠田池から林道までの間では、モノサシトンボやオオシオカラトンボが見られ、オカトラノオとヌマトラノオがすぐ近くに咲いていましたので、違いをじっくり比較しました。そのすぐ傍には2mはあるかという巨大なムラサキニガナが花をつけていました。このムラサキニガナと、形状がよく似た黄色い花のヤマニガナが林道の脇に何株か生えていました。林道ではサンコウチョウの鳴き声が聞かれましたが、残念ながら姿は見られませんでした。

海上の里サテライトではイカルの声が聞かれ、また雨のせいかウラギンシジミがじっと止まっています。里の田んぼではキアゲハがやはり翅を広げてじっとしていたので、シャッターチャンスとばかりに皆撮影に挑戦していました。

海上の里からの帰路では赤く色付いたツチアケビが見られました。

一時空が明るくなり雨があがるかと期待されましたが、結局ずっと雨の中の観察会でした。しかしほぼ予定していた花が見られ、雨ならではのじっとしている昆虫の姿が見られるなど、成果も多い観察会となりました。

なお、オトギリソウ科の2種とシソ科の1種は種名が分からず、写真を撮って図鑑で調べることが宿題となりました。

調べた結果、シソ科の植物はツルニガクサで、サテライトから駐車場への帰路で見たオトギリソウ科の植物は葉の縁に黒点がありサワオトギリでした。篠田池から林道への途中で見たオトギリソウ科の植物はヒメオトギリかコケオトギリのいずれかと思われますが、写真だけでは同定できませんでした。(齋竹 善行)



<観察できたもの>

花：キハギ、バイカツツジ、ワルナスビ、ヒメジョオン、ダイコンソウ、ツユクサ、オニドコロ、ホドイモ、ハエドクソウ、タケニグサ、アキノタムラソウ、ヘクソカズラ、ネムノキ、キンミズヒキ、ナツフジ、オカトラノオ、リョウブ、ヒメシロネ、ノギラン、ノリウツギ、ミゾソバ、ムラサキニガナ、ヤマニガナ、ツルニガクサ、ヌスビトハギ、ヨウシュヤマゴボウ、ミズタマソウ、イヌホオズキ、コマツナギ、ノアザミ、クサネム、ドクダミ、アレチマツヨイグサ、サワオトギリ

蕾：オケラ、シュウブソウ

鳥：ホトトギス (声)、イカル (声)、ツバメ、キセキレイ、ウグイス (声)、カイツブリ、コゲラ、ハシブトガラス、ホオジロ、サンコウチョウ (声)、メジロ (声)、モズ (声)

昆虫：クロコノマチョウ、コムシジ、クロヒカゲ、キマダラセセリ、オオチャバネセセリ、ウラギンシジミ、モンシロチョウ、ヒメウラナミジャノメ、キアゲハ、キチョウ、クロアヘガ、オスグロトモエ、ヤママユ (蛹)、ハグロトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、モノサシトンボ、アオバハゴロモ、アブラゼミ (声)、ニイニイゼミ (声)、オオスズメバチ